PTA あきた

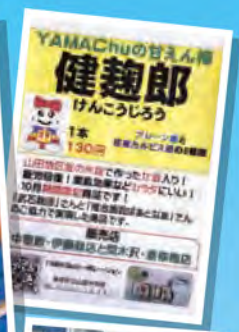
～みんなで育てる　秋田の子ども～

2021.3.2　No.143

【発　行】秋田県PTA連合会
【事務局】秋田市山王中島町1番1号　秋田県生涯学習センター内
TEL(018)864-8975　FAX(018)824-7935
E-mail :info@pta-akita.com
http://www.pta-akita.com

令和2年度 ふれあい事業から

湯沢市立山田中学校



YAMAChu Utopia Project #2020

横手市立十文字中学校

創立10周年記念講演会

男鹿市立美里小学校

10年後の私に年賀状

教育懇談会

新規採用教員の指導・育成について【小学校・中学校】

長年秋田県内小中学校の教育現場を支えてきた教員が多数定年退職を迎えました。新たに採用になった新人教員の育成について教えていただきたいと思います。

① 新人教員への指導力の引継ぎはどのように行っていくのか。
② 現在採用している教科書・教材は新人教員が活用するのに適当なのか。

●教育委員会

①について

県教育委員会では、本県教員に必要とされる教科等指導力や生徒指導力、マネジメント能力などの資質能力について、教員の経験年数等に応じたキャリアステージごとに「＊秋田県教員育成指標」として示し、その向上のために体系的な研修が推進されるようにしている。とりわけ、採用1年目の教員は、県総合教育センター、県教育庁各教育事務所及び各市町村教育委員会等が行う校外研修や、各学校において指導教員が中心となって行う校内研修を、1年間にわたって計画的に進めることとなっており、理論と実践の両面から指導力を高めることができるようにしている。また、学校における実際の業務を通じて、実践的に研修を進めるという考え方（ＯＪＴ）について、県内の学校に周知し、その理解が進んでいることから、若手教員が日常のあらゆる機会を捉えて研修を深めることができる基盤があるものと捉えている。

「＊秋田県教員育成指標」…… 令和３年度から名称を「秋田県教職キャリア指標」に変更

②について

公立小・中学校で使用する教科書を決定する権限は、その学校を設置する市町村教育委員会や県教育委員会にあり、決定するまでの間には、それぞれの教科書について、学習する児童生徒の立場や指導する教員等の視点など、様々な観点から調査・研究が行われ、慎重に検討される。また、学習プリント等の教材については、各学校において使用するものを決めることになるが、教員同士で協議するなどして自校の児童生徒にとって適切なものを選択している。以上のような過程を経て決定される教科書や教材であることなどから、それら自体は教職経験年数の長短にかかわらず、どの教員が活用するにあたっても妥当なものと考えられる。若手教員は、教科書や教材を使ってどのように指導するかということについて研究を深め、先輩教員から助言を受けるなどしながら研鑽し、指導力を高めていくことができるよう努めている。

リモート授業・ＩＣＴ教育について【小学校・中学校】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今後リモートでの授業を行う可能性があると思います。対面で行う授業ではない、過去に経験のない状況で、子どもたちの学力を維持するための対策は講じているのか教えてください。また、文部科学省の有識者会議において、デジタル教科書の指導制限を撤廃することで合意したとの報道がありました。市町村によって時期に差はあるものの、生徒１人１台タブレット端末を配備する時代、秋田県ではどのように進めていくのか、保護者としての負担はあるのかを教えてください。

●教育委員会

文部科学省による「ＧＩＧＡスクール構想」の実現の考え方のもと、本県の小・中学校等においても、児童生徒が１人１台使用するタブレット端末が整備されることとなった。このような環境を有効活用し、児童生徒の学力向上に資するためには、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図るとともに、授業にＩＣＴを積極的に取り入れ、指導の改善に取り組むことが必要である。そこで、県教育委員会としては、各教科等の指導におけるＩＣＴの効果的な活用の在り方などについて、各種研修を通して教員の理解を促すとともに、指導主事による学校訪問指導等を計画的に進めることで授業実践の充実につなげていきたいと考えている。

デジタル教科書について

デジタル教科書については、現在、現行の紙の教科書を主たる教材として使用することを基本としつつ、使用することが可能となっている。令和２年度における全国の普及状況としては、公立小学校では7.7％、公立中学校では9.2％と、いずれも１割に満たないものであるが、今後、各学校において授業でのＩＣＴの活用が進められる中で、デジタル教科書の特性や強みを生かした学習方法の工夫についても検討する必要が出てくるものと考える。文部科学省は、デジタル教科書の本格的な導入に向けて、令和３年度に全国規模での実証的な研究を行うことにしており、効果的な活用の仕方等について検討するとともに、デジタル教科書を含めたＩＣＴ機器の使用による児童生徒の健康面への影響や、長年にわたり学校教育の基盤を支えてきた紙の教科書との関係などについて、十分検討することとしている。県教育委員会としては、文部科学省によるデジタル教科書の実証研究の結果等を注視し、県内の市町村教育委員会及び小・中学校等に情報提供していきたいと考えている。なお、義務教育諸学校における教科書給与の現状としては、紙の教科書は無償であるものの、デジタル教科書は無償ではない状況であるが、このことについても、国の制度の動向を注視していきたい。

「令和２年度秋田県ＰＴＡ連合会教育懇談会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、残念ながら例年通りの開催に至りませんでした。本来であれば様々な意見を交換し、互いに良い波及効果を生む場なのですが、今年度はＰＴＡからの質問事項に書面で回答いただき、会員の皆様にご報告させていただく形となりました。
令和３年２月10日（水）、秋田県教育庁にて、安田浩幸教育長より、吉村昌之ＰＴＡ連合会会長へ回答書が手渡されました。

学校部活動の指導・活動について【中学校】

秋田県内一部の中学校には部活動（主にスポーツ）に外部指導者が派遣されています。専門性の高いクラブチームが近隣に存在しない、経済的理由で参加が叶わないなど、子ども達が置かれている状況も様々です。
「スポーツ立県あきた」を掲げる秋田県において、今後幅広く外部指導者の配置を計画していくのでしょうか。また、少子化に伴い、団体競技の部員を単独校で賄えない状況が起こった場合、どのように対応をとっていくのか教えてください。

■教育委員会
外部指導者は、県が各中学校に派遣しているのではなく、中学校ごとに適した人材に依頼している。学校により、謝金ありの場合やボランティアの場合など様々なケースがある。秋田市は予算を確保し、50名程度の外部指導者の謝金を支払っている。

中学校の場合、外部指導者の活用率は35％程度で推移している。前述したとおり、外部指導者の配置については、県が計画するものではないが、平成30年８月に秋田県教育委員会が策定した「運動部活動運営・指導の手引」では、「地域人材を活用することは、地域の教育力を活かすということであり、地域と協働した学校づくりにつながるとともに、生徒の多様なニーズに合った技術指導等の充実が図られ、また、教職員以外の人とふれあい、指導を受けることで、生徒の成長にとっても意義がある。」として、地域人材の活用を推奨している。

令和元年度より、国の制度である部活動指導員が希望する市町村に配置され、令和元年度は21人、令和２年度は36人と拡充している。令和３年度は予算要求中ではあるが、更に拡充する方向である。部活動指導員は、外部指導者ではできなかった単独での指導や引率が可能である。

令和元年度、複数校合同部活動を実施しているのは、中学校０校、高等学校19校（11チーム）である。また、複数校合同チームでの全国参加は、中学校76チーム157校、高等学校12チーム30校である。

県中体連では、日本中体連において平成15年から種目を限定して合同チームの参加を認めたことを受け、同年から順次合同チームの大会参加を認め、平成１７年度からは個人種目のない７種目（バスケットボール、サッカー、ハンドボール、バレーボール、軟式野球、ソフトボール、ラグビー）で合同チームの大会参加を認めている。

複数校合同チームの参加や、地域クラブで活動している生徒の参加に道が開かれるよう、中体連や各競技団体で大会開催基準の見直しも必要である。

県教育委員会としては、合理的でかつ効率的・効果的な部活動が行われるよう、団体協議に限らず、指導者がいて、拠点となる学校に子どもたちが集まって活動するなど、適切な運営体制の整備や地域人材の活用を通じ、子どもたちがいつでも・どこでもスポーツに取り組むことができるよう、スポーツ機会を充実させてまいりたい。

コロナ禍における学校消毒作業について

学校における除菌・消毒作業は教職員が行っているケースが多く、教職員の負担が増加するとともに、専門知識・スキルのない人たちでの作業に対して心配する声も聞かれる。今後、専門業者等の活用を考えているのか。

■教育委員会
県教育委員会として専門業者等による消毒作業を実施する予定はないが、令和２年度に引き続き、消毒作業等に従事する人材を来年度も配置する方向で検討している。

優良PTA文部科学大臣表彰 学校紹介

和合の響き

大仙市立大川西根小学校PTA会長　佐々木　大心

この度は栄誉ある文部科学大臣表彰を頂戴致しまして大変嬉しく思います。本校PTA全体会に於いて会員の皆様に受賞の報告をし、大いに喜んで頂きました。

大川西根小学校のPTA活動は特に地域とのつながりを大切にしております。本校は伝統でもある全校音楽活動やオーケストラ演奏を大きな特色とし、地域の皆様に親しく聴いて頂けるように、度々演奏会を行っております。そして毎年秋に大曲市民会館で開催される楽器まつり演奏会では大仙市の皆様にも広く開放し、お喜び頂いております。

生徒たちは音楽という一つの目標に向かい得意、不得意に関わらず全校生徒が協力し忍耐強く努力しており、沢山の方の笑顔や喜びの声に励まされて一生懸命頑張っています。

また本校は運動会も地域と一緒に地区運動会として行っており、農園活動でも沢山の方がご指導ご協力くださり、子供たちは楽しみながら貴重な体験をさせて頂いております。学校や家庭だけではなく地域の方々と、多様な形で関わることで働くことや自立すること、社会への参画、文化の伝承など、多様な姿を見ることで子供たちは多くを学ぶことが出来ると思います。

生活指導では通学路等の安全点検を行い、定期的に街頭指導も実施し、交通事故や不審者への注意を促しながら、安全指導や挨拶等の指導にも力を入れております。

以上の様な活動を行えますのもPTA会員のご理解と、一人一人の積極的なご協力、地域の皆様の温かいご支援のおかげです。そして日頃より保護者との対話を大切にし、子供たちに寄り添い熱心にご指導くださっておられる高野校長先生や教職員の皆様のお力添えがあっての受賞でもあると思います。

本年度は新型コロナウイル感染拡大防止の為、やむを得ず行事の中止や規模の縮小もございました。

一日も早く世情状況が落ち着きますことを願い、今後も地域との関わりを大切にし、子供たちにとってより良い環境を作れる様にPTA会員のご協力のもと尚一層尽力して参りたいと存じます。

優良PTA文部科学大臣表彰受賞

秋田市立豊岩中学校PTA会長　佐藤　彩子

この度、私ども豊岩中学校PTAは優良PTA文部科学大臣表彰を受賞させて頂きました。

今回の受賞は、豊岩中学校に受け継がれてきました活動を評価して頂いた物だと思います。歴代のPTA会員の皆様と地域の方々のご協力と、歴代PTA会長のご尽力のお陰で受賞に至りましたこと、感謝申し上げます。

本校のPTA活動は、小規模校であるため、全会員が一役を担うこととして例年活動をしています。また、専門部の他に「町内委員」を役員として位置付け、地域の町内会長と連携して学校の情報発信をして、地域の方々にも生徒を見守って頂いております。

また、生徒達が地域の家を周り、空き瓶回収のご協力をお願し、その収益でスクールコンサートを開催するなど、地域とPTAが密接な関係が特色です。

地域行事の「やまはげ」の衣装提供して頂き、わらび座の脚本、演技指導を受けて上演した全校演劇等、また、「やまはげ」に参加している生徒も多数おり、地域の皆様とのコミュニケーションを取る機会も大変多く、小規模校豊岩中学校ならではの活動が大変多いと思います。

少子化による生徒の減少で本校は令和5年に閉校となってしまいますが、最後まで子供達の為のPTAであれる様、小規模ではありますが豊岩中らしい暖かいPTA活動をして参りますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度 表彰一覧

優良PTA文部科学大臣表彰

- 大仙市立大川西根小学校PTA
- 秋田市立豊岩中学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰

（団体）
- 鹿角市立花輪北小学校PTA
- 湯沢市立三関小学校PTA

（個人）
- 佐々木晃吉　秋田県PTA連合会　副会長
- 地主　雄生　秋田県PTA連合会　副会長

東北ブロックPTA協議会会長表彰

（団体）
- 鹿角市立平元小学校PTA
- 能代市立向能代小学校PTA
- 秋田市立外旭川小学校PTA
- 秋田市立河辺中学校PTA
- 秋田市立下北手中学校PTA
- にかほ市立平沢小学校PTA

（個人）
- 福嶋　正希　小坂町立小坂中学校PTA　会長
- 畠山　佳洋　大館・北秋田PTA連合会　前会長
- 加藤　大地　潟上市立出戸小学校PTA　会長
- 髙橋　幸栄　美郷町PTA連合会　前会長
- 宮本　敦　横手市PTA連合会　前会長
- 藤田　健志　湯沢雄勝PTA連合会　前会長

秋田県三行詩コンクール入賞者

【小学生の部】
- 湯沢市立湯沢西小学校　1年　大山　夢華
- 由利本荘市立由利小学校　1年　尾留川新太
- 由利本荘市立由利小学校　2年　佐々木詩結
- にかほ市立院内小学校　4年　佐々木佑人
- 由利本荘市立東由利小学校　5年　小松ひより

【中学生の部】
- 仙北市立桧木内中学校　1年　浅利　成琉
- 仙北市立桧木内中学校　3年　座間　和心
- 仙北市立桧木内中学校　3年　武藤　大翔
- 由利本荘市立西目中学校　2年　渡辺　利玖
- 由利本荘市立西目中学校　3年　清橋　誓

【一般の部】
- 横手市立栄小学校PTA　山本　瑠美
- 湯沢市立湯沢南中学校PTA　樋渡　市子
- 横手市立山内小学校PTA　小松　正子
- 由利本荘市立西目中学校PTA　渡辺比登美
- 由利本荘市立西目中学校PTA　土田　正志

【団体特別賞】
- 由利本荘市立由利小学校
- 横手市立横手北小学校
- 由利本荘市立西目中学校
- 横手市立横手北中学校

郡市 PTA だより

かづの

●PTA活動の活性化を図るために

毎年恒例の「鹿角のＰＴＡ活動を考える会」は、昨年度同様に青少年育成市民会議「青少年を育てる市民のつどい」との共催で実施しました。中学生による「わたしの主張発表」、子ども芸能発表としての「花輪ばやし」、越谷心理支援センター顧問で臨床心理士・公認心理師の秋山邦久氏による「子どもや親と向き合い、上手に話を聞くスキルを身につけよう」と題したリモート講演などといった内容で、好評のうちに終えることができました。会員数も減少し、ＰＴＡ活動の現状を踏まえると、共催といった取組が今後も効果的に行われていけばよいのでは、と考えています。

今年度予定されていた県ＰＴＡ研究大会かづの大会は、新型コロナウイルス対応のため残念ながら中止となってしまいましたが、今後も鹿角ならではの特色を生かしながら活動を進めていきたいと思っています。

大館・北秋田

●心豊かにたくましく生きる子どもを育てるPTA活動の創造と実践

今年度の「大館・北秋田PTA連合会研修会」は、10月24日（土）ほくしか鹿鳴ホールを会場に開催しました。今年の研修会の特徴はコロナ禍の影響でご来賓の出席を見送りコンパクトをイメージした研修会でありました。オープニングに続いて、長年にわたり地域のPTAの活性化、発展に寄与された28名の方々の表彰を行いました。後半の研修会では、大館市福祉部福祉課障害福祉係に社会福祉士として勤務する奈良光樹氏より「劣等感を活かす」と題した講演をしていただきました。奈良氏は先天性両上肢欠損という障害を抱えて生を受け、いろんなことに悩みながらも、ひとかたならぬ努力を積み重ね、前向きに過ごしてきた経験を活かし、市内で苦しんでいる障害者の橋渡しができるような存在になりたいと言う力強いメッセージが会場に響き渡りました。参加者からは、「両親の子育てに対する強いおもいが伝わった」「障害を抱えながらも明るく素直」等多くの感想が寄せられ、有意義な研修会となりました。

能代山本

●コロナ禍の郡市PTA活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年実施されている事業に様々な制限が加わったほか、大きな事業については中止の判断をせざるを得ない状況になりました。

5月の総会は三密を避けるため書面での決議としました。また、秋の講演会については、7月の三役会合同会議において、8月末実施のアンケート結果を踏まえ、会長が最終判断するとしたところ、能代山本50名の役員から、今年度は見送る（43名）、開催する（1名）、回答なし（6名）との結果となり、安全を第一に考え、会長が開催を見送る判断をいたしました。

現在、会報の作成をしています（写真は事務局員による校正作業）。各学校単位の内容となる予定ですが、次年度につながる紙面になるよう努力しているところです。

来年度は、コロナが収束（終息）し、子どもたちのために対面で活動できるＰＴＡ連合会に戻れることを心より願っています。

潟上市・南秋田郡

● 今こそPTAの力を

「秋田住みます芸人を迎えての落語・漫才・パネルディスカッション」「アロマワックスサシェ体験教室」「教育費用と暮らしの節約術講座」「今日から始められる家族防災講座」「ウォーキングレッスン」「感染症対策に関する研修会」「学校祭来校者の検温、会場消毒への協力」「夏季休業中の親子ボランティア活動」「小中合同危険箇所点検」……。

例年のような、一堂に会しての研修会は実施できませんでしたが、「子どもたちのために何ができるか」「どうしたらやれるのか」を考えて取り組んだ活動の数々からは、制限があるからこそ精一杯活動したいという会員の思いと工夫が伝わってきました。またこの機会に、PTA活動の在り方を見直し、新しい形で協力体制を築いたという報告もありました。

来年度は県PTA研究大会潟上市・南秋田郡大会が開催されます。コロナ禍の中、PTA活動においても、一人一人の思いや優しさをどうつないでいくかが問われているように思います。取組は緒に就いたばかりですが、木の葉が色づく頃、より多くの会員の皆様にご参加いただけるよう、潟南P連一同、準備を進めてまいります。

男鹿市

●新しい活動 ～地域貢献施策に取り組む～

今年度を振り返り、1年間のまとめをしていたところ、ほぼ全ての事業が「新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止」という有様でした。事務局として大変悔しい思いをしていたとき、PTA連合会として何か地域に貢献できないか、という話が持ち上がり、次のような施策に取り組むことにしました。

一つ目は、「特殊詐欺被害防止年賀状」への取組です。男鹿地区金融機関防犯協会主催の企画で、PTA連合会からも協賛金を拠出し、高齢者の多い男鹿市内特定地域全世帯へ年賀状を発送しました。

二つ目は、「10年後の私に年賀状」への取組です。小学校4年生で実施されている二分の一成人式に関連して、10年後の自分に向けて年賀状を書き、二十歳を迎えたときに受け取れるよう計画したものです。PTA連合会が男鹿市の全小学校に呼び掛け、「みんなで育てる秋田ふれあい事業」の補助金を活用して取り組みました。コロナ禍の中で大変な思いをしている子どもたちに、明るい未来を思い描いてもらいたいと企画したのですが、各小学校にはとても好評だったようです。

ささやかな取組ではありましたが、PTA連合会として新しいことに取り組めたことと地域に貢献できたことで、今後のPTA活動の活性化に少しでもつながってくれればと考えています。

秋田市

●心を込めた「一円玉」

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定期総会と教育懇談会は書面開催となり、その他の活動もほぼ中止となりました。このような状況の中で、生活安全部の活動である「第41回一円玉福祉募金」だけは実施することができました。

「一円玉福祉募金」とは「様々な環境にある子どもたちと同じ時代を生きる仲間として助け合い、友情を深め、そして一円玉を大切にする心を持つ人間に育つこと」を目的に実施しているものです。

募金収集期間中は各学校で「一円玉福祉募金運動シール」を空き瓶等の容器に貼って各教室に設置し、子どもたちが直接容器に一円玉を入れられるようにします。

寄せられた募金は、12月5日に贈呈式を行い、秋田市内2カ所の児童養護施設と秋田市社会福祉協議会を通して交通遺児へ贈呈いたしました。

募金をとおして、一円玉の大切さを理解するとともに、助け合うことの優しい心が育つことを祈っております。

由利本荘市

●「地域とともに」

今年度は、由利本荘市PTA連合会も新型コロナウイルスに翻弄された1年となった。

春の総会及び秋の理事会は、紙上での開催となり、11月の教育懇談会も人数と時間を制限し、懇親会のない形での開催となった。

全国大会、東北大会、秋田県大会など例年参加していた各種大会もなくなったため、前期の会報も発行を延期せざるを得なかった。

そうした苦しい状態の中で、救いとなったのは、各小・中学校で保護者や地域と連携し、様々な行事を工夫して実施し、地域に明るい話題を提供してくれたことである。

当然、中止という選択もあったかと思われるが、中止にせずに何とかして実施しようという気持ちが各行事から強く感じられた。

来年度の本市P連がどうなるのか、現段階では全く先行き不透明であるが、そうした各地域の熱い思いや創意工夫に感謝しつつ、一刻も早く新型コロナウイルスが収束してくれることを願うばかりである。

にかほ市

●にかほ市PTA講演会

にかほ市PTA連合会では、毎年研修事業部で講演会を計画し実施しています。たくさんの方々とともに学ぶ機会とするため、学校報だけでなく市広報でもお知らせし、保護者や地域の方々、子どもたちが参加する形で行っています。

今年度は、NHK秋田放送局「ニュースこまち」のキャスターでお馴染みの髙野栞氏を講師に「『好き』を知ること」という演題で象潟中学校体育館を会場に開催しました。由利本荘市出身の髙野氏は、中学校、高校、大学時代の自分の生き方を振り返り、その時々に好きなことに夢中になって取り組み、現在に至っていることを話してくださいました。そして、「好き」という気持ちが、これからの自分を後押ししてくれると教えてくださいました。最後の質問コーナーでは、子どもと世代が近いこともあり、たくさんの質問が出て大いに盛り上がった講演会となりました。

大仙市

●新たな取り組み　～ウエブ上で情報公開～

本地区でも顔を合わせての事業はほとんど実施できておりません。予定も含めて、実施した事業は以下の通りです。

1 令和2年度　総会（5月）　誌上開催（書面評決）
2「あいさつ」協調運動（6月）　ポスターの作成と配布
3「書き損じはがき拠出運動」（1月）　各校へ協力依頼
4 第30回　研修会（2月）　クラウド上で情報公開
5 会報の発行（3月）　No.27号
6 会計監査・役員会（3月）　実施予定

コロナ禍でほとんどできないと嘆いてばかりではなく、今年は、大仙市教育委員会と相談して、新たに研修会の資料をウエブ上（期間限定）で公開しました。例年であれば、関係各機関と各園、小・中学校の教頭先生やＰＴＡ会長さんが参加して研修を深めていました。ただ、出席できた会員は研修を深めることができたものの、それを会員にも広めたいという課題がありました。ウエブ上で公開することで少しでも解決が図られたと考えています。

仙北市

●新たな活動を模索して

仙北市ＰＴＡ連合会では、例年、講師をお招きしての研修会を開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受け、研修会の開催を断念いたしました。

そのような中、役員会では、多くの人が集まる集合型のイベントはできないものの、研修会に代わる事業を行うことができないものかと長時間にわたり協議を行いました。その結果、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により子どもたちが屋内で過ごす時間が多くなっていることから、学校や家庭での読書の時間に役立ててもらうため、各小・中学校に図書をお贈りしました。図書の選定については、市の図書サポーターからアドバイスをいただき、子どもたちがじっくり読書ができるように、物語を中心とした図書を選定しました。今後もアイデアを出し合うことで、コロナ禍でのＰＴＡ活動の充実を図っていきたいと思います。

美郷町

●校外指導部情報交換会

今年度の連合会の活動としては、夏休み前の7月に各学校のPTA会長と校外指導部長にお集まりいただき、少人数ではありましたが、校外指導部の情報交換会を開催しました。

各学校の現在の状況や、大仙警察署の生活指導課より最近の指導の状況などの情報をいただき、夏休み前に注意したいことなどについて情報交換を行いました。各学校での登校時の見守り活動に関することや、家庭での生活状況について具体的な事例をお話いただく機会となり、大変有意義であったと思います。最近は、外出することが少なくなり、子どもたちもインターネットに触れる時間が多くなったようで、今後はネット上のトラブルに注意が必要なことが確認できました。

例年であれば全体的な研修会が行われたところですが、残念ながら行なうことができませんでした。今後も子どもたちのより良い環境作りのために各学校との情報交換を行いながら活動していきたいと思います。

横手市

●三役会からの発信 ～今できることを 今やる～

春の総会や「横手市ＰＴＡ連合会研修会」を開催することができない中で，今年度は，少人数で三密を避け，安全性を高めて意見集約ができる三役会を状況を見て行い，横手市ＰＴＡ連合会としての方向性や具体的施策を役員に提案し，会員の皆様にお届けしました。次の二つが，今年度の活動です。一つ目は，横手市内の小・中学校全２４校にハンドソープを10本ずつ届けるというものでした。二つ目は，横手市議会に「小・中学校における猛暑対策への要望書」を横手市ＰＴＡ連合会としてお届けしたことです。これまでもエアコン設置を求める声はありましたが，実現には至らずにいました。市の方針転換もあり，結果として，市内小・中学校普通教室へのエアコン設置の予算が9月定例会で可決されました。このように，今年度は，みんなで集まることはできませんでしたが，これまでと同様にみんなの思いを一つの形にすることができました。

湯沢雄勝

●新たな価値観の必要性

今年度は，当連合会のほぼ全ての事業や活動が軒並み中止で，「やりたくてもやれない」状況での一年間でした。PTA事業に限らず，学校教育の全ての活動で方向転換や新たな視点の模索が求められました。変更，中止，延期の連続で，「できることは何か」「それは本当に必要なのか」「やるならばどんな方法や手立てが最善なのか」を刻々と変化する状況下で何度も修正しながら各校のPTAもこの一年を過ごしてきたのではないかと思います。苦労を重ねたぶん，学校では「そぎ落とせるもの」も見えてきたようにも感じました。新たなフェイズに移行していく世界の中で，元のようには戻れないものもあると思います。新たな価値観の下，次年度以降のＰＴＡ活動が有意義なものになりますようご祈念申し上げます。

閉校を迎えた三関小PTAさんに全国表彰をいただけたこと，感謝申し上げます。

メモリアルページ

今年度をもってPTA活動の区切り（閉校）となる学校があります。
①創立年月日　②児童・生徒数　③PTA会長名　④校歌

鹿角市立花輪北小学校

①昭和42年4月1日
②118名　③山本　学

作詞　竹内　瑛二郎
作曲　佐藤　長太郎

1　朝明けの空はれわたり
　奥羽の山の　かがやく峰よ
　仰ぐひとみも　きよらかに
　風の日雪の日　たゆみなく
　じょうぶなからだで　楽しく励む
　あふれる望み　この胸に
　花輪北の伸びゆくわれら

2　米代のうるおすところ
　天地は広く　緑ににおう
　友と日に日に　新しく
　知徳をみがいて　ひとすじに
　すなおな心で　仲よく進む
　日本の栄え　この肩に
　花輪北の伸びゆくわれら

鹿角市立平元小学校

①明治8年4月14日
②77名　③児玉　宏彰

作詞　鎌田　宏
作曲　海鋒　義美

空はまさおだ山さみどりだ
仰げ希望にみちてくる
丘のまなびや風かおり
桜若葉に日がいっぱいだ
みんな明るく手をくんで
いこうよ平元小学校

雲はかがやく水すきとおる
みがけひとみが澄んでくる
いたわりあえばあたたかく
赤いりんごが心にみのる
みんな楽しく手をくんで
いこうよ平元小学校

雪はふりつむ風ふきつのる
たえよ力がわいてくる
強くすなおにそだつのだ
すぎの木立もすくすくのびる
みんな仲よく手をくんで
いこうよ平元小学校

北秋田市立鷹巣中央小学校

①明治8年9月26日
②107名　③近藤　航

作詞　高村　禅雄
作曲　岡田　志津麿

一　其名も鷹巣　中央と
　偉容を誇る　我が母校
　郷土の文化　背に負うて
　心も体も　鍛えつつ
　伸びゆく我等を　見よやみよ

二　青空高く　聳え立つ
　森吉山を　仰ぎみて
　希望に胸を　膨らませ
　手に手を取りつつ　励み合う
　我等が学び舎を　見よやみよ

三　今も昔も　堂々と
　流れてやまぬ　米代の
　河の流れを　身にしめて
　足並そろえて　進みゆく
　我等が姿を　見よやみよ

北秋田市立鷹巣南小学校

①明治7年8月1日
②55名　③山城　寛幸

作詞　松橋　修一郎
作曲　木内　博

一、ゆたかな大地　すむ空に
　森吉のみね　かがやいて
　学びのにわに　すくすくと
　清い心を　みがこうよ
　そだつわれらの　みなみ小

二、雨や風にも　耐えしのぶ
　ほこる歴史を　うけついで
　学びのにわに　はつらつと
　強いからだを　つくろうよ
　きずくわれらの　みなみ小

三、希望のひかり　さす丘に
　のびゆく姿　陽に映えて
　若い日本の　足音に
　力あわせて　すすもうよ
　たのしい学び舎　みなみ小

由利本荘市立石沢小学校

①明治7年3月17日
②47名　③伊藤　浩二

作詞　尾留川　慶治郎
作曲　小野崎　晋三

沃野を下る　石沢の
清き流れに　のぞみつつ
天そそりたつ　鳥海を
この学びやの　窓の辺に
あおぎてここに　年ふりぬ

恵み豊けき　あめつちと
自治と理想の　あけくれに
教えの風は　かおるなり
われらも共に　はげみつつ
学びの道に　いそしまん

み空にさゆる　にい星は
愛と希望に　輝きて
文化の花の　咲きほこる
くおんの平和　もとめつつ
強く　正しく　いざゆかん

大仙市立豊岡小学校

①明治13年7月1日
②70名　③藤田　裕紀

作詞　坂本　省一
作曲　堀川　俊輔

若草萌えて　鳥うたう
豊けき岡の　里ほがら
山の早緑　陽に映えて
雲湧く峯の　空遥か
高き望みに　生きよ友

松は常磐に　色増して
大地を覆い　岩穿つ
炎熱のもと　風の日
雄々しく強く　たゆまなき
訓を胸に　刻め友

黄金の穂波　日本晴れ
久遠の姿　鳥海の
仰ぎ見故くる　雲の果て
夕映えの岡　秋闌けて
稔の幸は　郷土に充つ

ああ先人の　残したる
熱を偲び　清新の
わが学舎に　瞳み合い
自治と文化の　華の庭
平和の鐘を　聞けや友

大仙市立豊川小学校

①明治7年9月25日
②41名　③古村　真樹

作詞　倉田　政嗣
作曲　小野崎　晋三

一、朝に仰ぐ　脊梁の
無言の教え　胸にひめ
夕見放くる旷野原
自然の啓示　身に浴びて
吾等は　ここに生を享く

二、黒き土の香　なつかしき
涯しも知らぬ　美し田の
伸びゆく力　眺むれば
村を拓きし　先哲の
忍苦の程ぞ　偲ばるる

三、ああ先人を　範として
学びの子らに　望みあり
修むる道に　光あり
ともに手をとり　睦み合う
香しきかな　校風は

四、神とし祭る　御鏡の
永久に輝く　栄えの里
使命に躍る　健児らの
赤き真心　ひとずじに
いざや築かん　我が郷土

横手市立十文字第一小学校

①明治10年4月10日
②322名　③千田　慎之介

作詞　竹内　瑛二郎
作曲　佐藤　長太郎

一、はるかにあおぐ　鳥海の
そびえる姿に　雄大の
心をみがき　育つところ
はえある歴史を　うけついで
ひとみもきよく　みなすこやかに
よろこびあふれる　プールの水も
かがやく　われらの　十文字

二、道ひろびろと　風かおり
日に日に栄える　ふるさとの
力を胸に　進むところ
日本のゆくてを　この肩に
雨の日　雪の日　たゆまず励む
記念の木々は　緑ににおい
伸びゆく　われらの　十文字

横手市立十文字第二小学校

①明治10年4月20日
②90名　③髙橋　賢史

作詞　酒井田　蒼秋
作曲　小野崎　晋三

一、春の陽の　光あふれて
うすもも色に　におう白かべ
南と北に　つばさひろげて
私たちを　いだいてくれる
ああ　ほのかなる母のふところ

二、美しき　雲のながれて
校庭の　もみじもえたつ
村人たちの　心あふれて
夢のようなる　おとぎのおうち
ああ　きよらかな心の里よ

三、鳥海の みねの光りて
教室の　窓のかがやく
希望の花に　むねのふくらみ
私たちの　心もはずむ
ああ　さきかおる高きのぞみよ
私たちの　第二小学校

横手市立植田小学校

①明治7年7月8日
②51名　③髙橋　康弘

作詞　神馬　一
作曲　柿崎　かくじ

輝く朝日　金峰の
雲紅に　燃ゆるとき
文化の泉　学舎に
我等雄々しく　胸をはる
燦たり　植田小学校

古四王の杜に　こだまする
祖先の教え　鏡とし
心にきざみ　はげみつつ
高き理想の　みちを往く
厳たり　植田小学校

夕日に映ゆる　鳥海の
気高き姿　仰ぎつつ
あしたの文化　築かんと
真実もとめて　進まなん
幸あれ　植田小学校

横手市立睦合小学校

①明治8年3月31日
②79名　③藤川　尚樹

作詞　信太　運治
作曲　山中　富之助

一　礎固き　学び舎は
我等が里の　ともしなり
文化の光　仰ぎつつ
学ぶ我等の　幸多し

二　鳥海の山　いや高く
雄物の川の　水長し
めぐる景色の　美わしく
四時の色香は　窓に入る

三　名も睦合の　むつましく
学びの道を　一筋に
共に手をとり　進まなん
風雨もいかで　いとうべき

湯沢市立三関小学校

①明治7年5月6日
②59名　③髙橋　龍児

作詞　井上　源吾
作曲　黒沢　隆朝

高くそびゆる　鳥海山
高きは我らが　のぞみなり
学びの庭に　わけいりて
いざやはげまん　諸ともに

清く流るる　雄物川
清きは我らが　心なり
におう桜を　かがみとし
いざやつとめん　道のため

赤き心の　色もみじ
天地にはじぬ　誠もて
三つの関をば　もり立てて
いざやつくさん　国のため

湯沢市立須川小学校

①明治22年11月6日
②51名　③小嶋　哲好

作詞　田尻　圀介
作曲　島森　道邦

一　東鳥海　尾根高く
みやまおろしの　風が鳴る
朝に夕に　見上げては
大きな望み　雲と湧く
ああ須川　須川小学校

二　雄物の流れ　水清く
平和な鳥の　歌響く
みんな肩組み　朗らかに
大きな声で　こだま呼ぶ
ああ須川　須川小学校

三　山おだまきの　咲き匂う
花の輪結ぶ　友と友
すくすく伸びる　杉の芽は
明日の時代の　幹となる
ああ須川　須川小学校

大仙市立豊成中学校

①昭和28年4月1日
②49名　③髙橋　由紀夫

作詞　花津谷　修一郎
作曲　小野崎　晋三

一　名にし負う　奥羽山脈仰ぎつつ
仙北の野を見はるかす
ひかりの丘に幸うけて
ここ豊成の　栄ある若木

二　握り合う　手と手の誓い誠実と
英知の花と咲きかほる
郷土の歴史さながらに
うるはしの園　笑みあふれたり

三　学び舎に　つづく松原風さやぎ
雲たちのぼるこのあした
ひとみ明るく　胸ひろき
文化の子らが　高き歌声

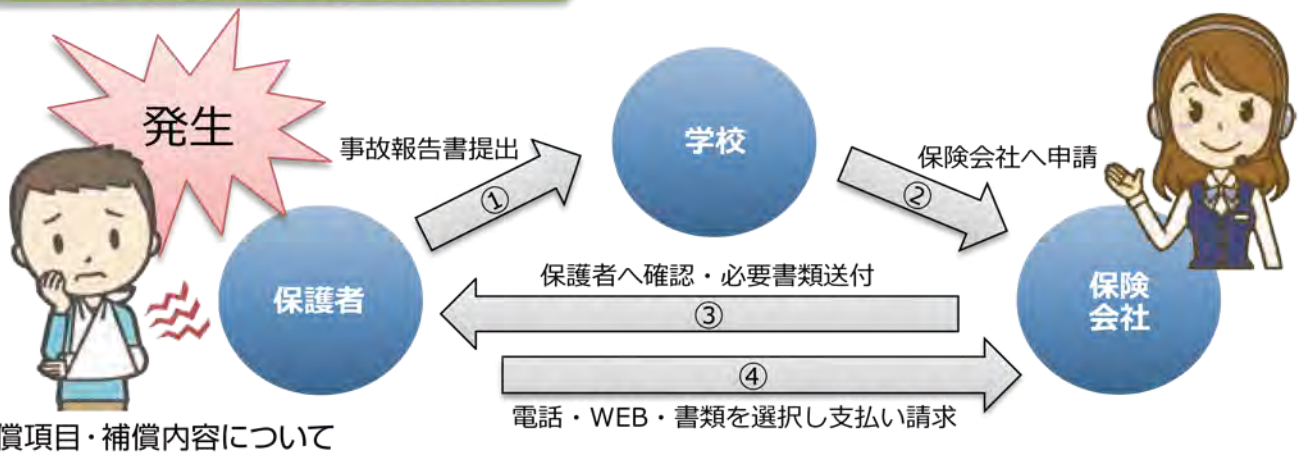
四　豊成と　その名うたわれ限りなき
希望と力いだく日を
永久に伝へん群山を
ひときはぬける　鳥海のごと

『児童・生徒・PTA総合補償制度』についてのお知らせ

補償項目

※学校管理下・PTA活動外等の起因により事故対象にならない場合があります。

保険金の手続き方法



補償項目・補償内容について

	補償項目	保険金額 ※注1 ①学校管理下外（児童・生徒）	保険金額 ②PTA活動中（児童・生徒、PTA会員）
ケガの補償	死亡保険金	100万円	150万円
	後遺障害保険金（障害の程度により）	4万円～100万円	6万円～150万円
	入院保険金日額（180日限度）	1,200円	1,800円
	手術保険金	入院中 12,000円／入院中以外 6,000円	入院中 18,000円／入院中以外 9,000円
	通院保険金日額（90日限度）	800円	1,000円

※注1）入院保険金、手術保険金、通院保険金は、事故の日からその日を含めて7日目以降においてなお、入院または通院した場合に限り、入院または通院を開始した日から保険金をお支払いします。

	補償項目		支払限度額
賠償事故の補償	PTA活動の遂行に伴う賠償責任（自己負担額 5,000円）	対人	1名：3,000万円／1事故：3億円
		対物	1事故：200万円
	保管物の損壊等による賠償責任（自己負担額 5,000円）	保管物	1事故：10万円 保険期間中：500万円
	提供飲食物危険補償（自己負担額 5,000円）	対人・対物	1名・1事故/PTA活動の遂行に伴う損害賠償責任の対人・対物補償と同額 注）保険期間中の限度額については、対人・対物それぞれの1事故あたりの限度額が適用されます。
	児童・生徒の賠償責任（自己負担額 0円）	対人・対物共通	1事故：1億円
	法律相談・クレーム対応費用（自己負担額 0円）		1事故：100万円 保険期間中：1億円
	付帯サービス		弁護士相談・紹介サービス

家庭内でできる感染予防 ～大切な人を守るために～

規則正しい生活

- 早寝・早起き・朝ごはんは生活リズムを整えるための基本です。
- 適度な運動、休養を心がけ、コロナに負けない体づくりをしましょう。

毎朝の健康観察

- 熱がある時や体調が悪い時は、家でゆっくり休みましょう。友達とも遊びません。

こまめな手洗い

- 手についたウイルスを、石けんと流水で洗い流しましょう。
- 外から帰った時、 食事の前後、トイレや掃除の後、みんなで使うものを触った後に、手を洗いましょう。

家でのマスクはより安心

- つば、せき、くしゃみの中に含まれているウイルスが飛び散らないようにします。
- 十分な距離がとれない時、おしゃべりする時はマスクを着けましょう。

共有部分の消毒

- ドアノブ、スイッチ、テーブル、手すり、リモコン、トイレのレバー、 パソコン・タブレット、その他、家族がよく触れるところを１日１～２回消毒しましょう。

こまめな換気

- 新鮮な空気を部屋に入れ、ウイルスを外に追い出します。部屋の窓を２か所開けると効率よく換気できます。
- 冷たい風が、直接体に当たらないよう気を付けましょう。
- 湿度も適度に保ちましょう。

保護者の皆様へ

毎日、感染防止対策にお取り組みいただきありがとうございます。
引き続き、ご家庭でも 各自でできる感染防止対策をお願いします。

秋田県教育委員会ホームページより

NO！ コロナ差別

～感染した方々にはやさしさを　ウイルスと闘うすべての方々に感謝を～

感染者・回復者・濃厚接触者・家族関係者などに対する偏見や差別、SNS発信はやめましょう

医療・物流など暮らしを支える方への理解を深め、感謝しましょう

令和3年度 「みんなで育てる秋田ふれあい事業」の募集について

令和3年度もPTA行事、PTA内の活動グループが主催する子どもを含めた事業に、予算内で上限5万円の助成を行います。応募要項は、秋田県PTA連合会のホームページのお知らせをご覧下さい。

PTA安全互助事業

PTAの保険は、学校管理下外のケガや登下校中のケガ、PTA行事でのケガ、賠償事故の補償をしています。令和3年度の補償内容・加入要項を3月に各学校へお送りいたします。新年度のご加入をよろしくお願いいたします。

秋田県PTA連合会はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています

令和3年度 PTA研究大会 お知らせ

■第69回日本PTA 全国研究大会 北九州大会

大会主題：
「じりつ、創造、調和、そして成長」
～ひらこう未来のとびら・やっぱPTAっちゃ～

開催日：令和3年8月21日（土）
会　場：西日本総合展示場（福岡県北九州市）

■第53回日本PTA東北ブロック 研究大会 盛岡大会

大会主題：
東北の大地に根ざし、希望と幸いを求め、生きる力を育むPTA活動をめざして
～先人から学び、新しいPTA活動の在り方を探る～

開催日：令和3年9月4日（土）
会　場：盛岡市民文化ホール ほか（岩手県盛岡市）

■第47回秋田県PTA研究大会 潟上・南秋田大会

開催日：令和3年11月13日（土）、14日（日）
会　場：ホテルサンルーラル大潟

※各大会において新型コロナウイルス感染症等の状況により、変更及び中止の場合があります。

秋田県PTA連合会補償制度取扱会社

AIG　AIG損保

AIG損害保険株式会社　北海道・東北地域事業本部 秋田支店
〒010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル10F
TEL：018-801-2010 FAX：018-801-2022 午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）